

コード	402070301
記入日	H26.6.5

課コード	115
課名	農林課
課長名	下山 透
担当者	古川 利久

事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 26 年度
------	----------

評価対象事業名称	森林整備地域活動支援交付金事業
----------	-----------------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	4	政策名称	自立する産業の育成、雇用の確保	款コード	6
施策コード	402	施策名称	農林業の振興	項コード	2
基本事業コード	40207	基本事業名称	林業の環境整備	目コード	2
事務事業コード	4020703	事務事業名称	林業振興負担金事業費	細目コード	127
関連計画		法令・条例規則等	森林法 新上五島町林業振興奨励事業費補助金交付要綱		

計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1) 森林所有者		(対象指標1)	769人 (H25 管内林業の概要)			
(対象2)		(対象指標2)				
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	管内の森林情報収集活動、施業区域の明確化、林業指導を実施するため関係団体に補助を行った。 (森林整備地域活動支援交付金) →森林組合 752,756円	***** 補助金交付件数	1件	100%	***** 補助金交付件数÷ 補助金申請件数	***** 平成25年度
		① (達成率分析)	支援交付金は、要領に基づき検査を実施して適正に交付した。			
		② (達成率分析)				
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
	管内の森林において、施業の明確化作業に補助金を交付することで、森林環境の保全を図ることを目的としている。	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
		***** 保育面積	10ha	100%	***** 保育面積÷ 計画保育面積	***** 平成25年度
		① (達成率分析)	計画した保育量は、達成できている。			
		② (達成率分析)				

実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		24年度以前	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画
活動指標	①	件	20	20	19	1	1			
	②									
成果指標	①	ha	116	116	106	10	10			
	②									
総事業費 C (A+B)	千円	84,720	83,713	78,060	6,660	5,653				
直接事業費 A	千円	42,020	41,013	40,260	1,760	753				
人件費 B	千円	42,700	42,700	37,800	4,900	4,900				
内訳	従事職員数	人	6.1	6.1	5.4	0.7	0.7			
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円								
	県補助金	千円	31,558	31,558	30,805	753	753			
	起債	千円								
	その他	千円								
一般財源	千円	53,162	52,155	47,255	5,907	4,900				

評価 (CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

1次評価	妥当性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ● ない	理由	森林保全や林業者の経営安定化のために必要である。
	有効性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる ● いない	理由	森林所有者にとっては、自分の森林の現況等が把握できるとともに、歩（作業）道の整備等により維持補修ができています。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ● ない	理由	成果を向上させるために、森林所有者の意識向上が必要である。間伐材の利用により意識改革と歩（作業）道の有効が可能となっていく。
	効率性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる ● いない	理由	実績に応じた交付金となっているため、無駄なく有効活用されている。
・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。		● 代えられる ● 代えられない	理由	すでに実績に応じた額の交付であり、代えられない。	

改善 (ACTION)

1次評価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	特になし。
	今後、課題に向けた改善策	特になし。

2次評価	森林を守り育てるためには、地域が一体となって活動を行い、森林施業を実施していくことが不可欠であるため、引き続き普及啓発を図りながら森林の環境保全に努めること。
------	---

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
	●	●		このまま事業を継続				類似事業と整理統合
				事業内容を見直して事業を継続				事業の休止
				事業費を見直して事業を継続				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。